

様式3 令和5年度新座市学校評価システム学校運営協議会による評価シート

<b>目指す学校像 (重点目標)</b>	子供の自己有用感を向上させ、主体的・協働的な学びを大切にしたい学校づくり ①自己有用感を感じ取れる ②主体的な活動を引き出し、協働的に問題解決を図る ③学びやすい環境をもち、安全・安心を確保する ④保護者・地域の方々に信頼され、誇れる	学校名	新座市立大和田小学校
		実施日	令和 6年 1月16日

<記入の仕方>

- 「自己評価」及び「学校運営協議会による評価」の欄には、S A B Cを記入してください。
- 「自己評価についての説明」の欄には、その評価に至った理由及び自己評価の結果を学校がどのように受け止めるか特記事項がある場合のみ記載してください。

評価項目「組織運営」

質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は、働き方改革を進めるため、校務分掌や教育課程等を適宜見直し、教職員の意識を高めるよう組織的に取り組んでいる。	B	・日課表を見直し、放課後の教材研究や事務処理の時間、休憩時間を確保できるようにしている。 ・次年度に向けて校務分掌組織を見直し、負担の均衡を図る。	S	・日課表、時間割を見直し、学校全体で取組まれたことは良かった。教材研究などゆとりある準備ができていた。 ・学級での課題解決に、管理職の指導の下、これからも組織的に取り組んでいきたい。
学校は、児童生徒の発達段階に応じた適切な配慮を行い、一人一人にとって最適な学びを提供するよう努めている。	A	・授業や家庭学習、毎週木曜日の復習タイムの時間にAIドリルを活用することにより、個別の課題に沿った学習に取り組めるようにしている。	S	・AIドリルなど、個に応じた取り組みが感じられた。 ・授業においても、AIを活用し、教師と児童、児童同士が相互に情報交換ができていたと感じた。児童は授業によく集中していた。

評価項目「学力向上」

質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は、児童生徒が学習内容の理解を深めることができるよう、指導と評価の一体化を重視した授業を展開している。	A	・学習指導のねらいが児童の学習状況として実現されたかについて、評価規準に照らして観察し、毎時間の授業で適宜指導を行っている。	S	・学習指導のねらいを念頭に、児童の到達状況を勘案しながら授業が進められていた。 ・児童一人一人がタブレットを利用し、熱心に授業に参加していた。これからも遅れ気味の児童への配慮も継続していただきたい。
学校は、ICTを有効に活用し、発達段階や学力・能力に即した学習指導を行っている。	A	・一人一台端末を活用して、授業支援システムやAIドリル、Google For Educationを授業の中で有効に活用している。	S	・ICT環境が整えられ、ツールとして有効に活用されていた。学力向上に繋がっていると感じた。 ・ICTと同時に、直接対話によるコミュニケーション能力の向上にも取り組んでいきたい。

評価項目「豊かな心の育成」

質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は、児童生徒が友達や教職員・来校者に進んであいさつする環境を醸成している。	B	・毎月1日に代表委員会児童と教職員による挨拶運動を実施して、挨拶の輪を広げている。 ・教職員が自ら模範となるよう挨拶をする姿を見せることを大切に考えている。	A	・校内での挨拶は進んできている。特に高学年は、下級生の見本となっていた。 ・教職員同士の挨拶もとても心地よく感じた。これからも継続していただきたい。 ・「挨拶は人より先に自分から」が実践されているようだが、やや声が小さく改善の余地があるように感じた。
学校は、児童生徒一人一人が個性の特性を認め合って学校生活を送ることができる環境を整備している。	A	・校内研修において、支持的風土づくりの手法を学び、一人一人の長所を生かした教育活動を展開している。	A	・いじめに対する児童の意識は高く、思いやりの気持ちが育っていると感じた。 ・教師間で児童への対応などについて共通意識を持ち、粘り強く取り組んでいってほしい。 ・児童一人一人が役割を自覚し、生き生きと楽しそうに取り組む姿が見られた。

評価項目「健康・体力の向上・安全」

質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は、体育や部活動、休み時間などを通じて、児童生徒が意欲的に運動に親しむような取組を行い、体力向上に努めている。	B	・全校児童が参集した運動会を再開したり、体育委員会提案により、休み時間にドッジボール大会を実施したりして、運動に親しむ機会を充実させた。	S	・狭い校庭を計画的に活用している。休み時間など、元気に遊んでいた。 ・運動会では全員が楽しそうで、一人一人が輝いていた。組体操の要素を入れた取り組みは素晴らしかった。
学校は、事故や不審者の侵入等の緊急事態発生時に適切に対応できるように、危機管理マニュアル等を作成し、迅速に対応できる体制を整えている。	B	・危機管理マニュアルに沿った避難訓練や不審者対応訓練を実施し、警察の指導のもと、マニュアルの見直しや共通行動の確認をしている。 ・児童の安全意識を向上させるため、児童が自分で考えて行動できるよう指導していく。	A	・SNSを使った犯罪などへの対応も、マニュアルに取り入れていきたい。 ・外から不審者が侵入するケースが予想されるので、高学年を1階にするなどの対応策を検討していただきたい。

評価項目「保護者・地域との連携協力」

質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校運営協議会による評価	学校運営協議会による評価についての説明
学校は、学校だよりやホームページなどで、教育活動の様子や成果・課題などについて定期的に情報提供している。	A	・10月から学校だより等を電子ファイルで配信し、いつでも閲覧できるようにしている。 ・学校行事等における児童の様子をホームページや掲示板で紹介している。	S	・ホームページやアプリ等で学校の情報を積極的に発信し、地域との連携によく取り組んでいる。 ・公民館に学校だよりが置いてあり、また町内会への回覧もあり、学校への理解が深まっている。
学校は、保護者や地域と連携した活動を計画的に実施している。	A	・花壇の整備、学校教育農園の作業補助、読み聞かせ、ミシンを使った学習のサポート、地域学習の引率等、保護者や地域住民との活動の充実を図っている。	S	・学校応援団をはじめ、PTA・地域との協力関係がとて良い。これからも保護者・地域の理解と協力を得ながら、連携の輪を広げていきたい。